

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 慢性副鼻腔炎における前頭洞炎発症リスクの検討』

研究機関名 東邦大学医療センター 大橋病院

研究責任者 耳鼻咽喉科 職位・氏名 助教・菱村 祐介

【研究の目的】

東邦大学医療センター大橋病院 耳鼻咽喉科では、多数の鼻副鼻腔疾患の診療を行い、年間 250 例以上の内視鏡下鼻副鼻腔手術を行っており、日本鼻科学会認可研修施設にも認定されております。代表的な対象疾患である副鼻腔炎いわゆる蓄膿症は、感染、アレルギーなどの体質、鼻の通りの悪さなど、様々な原因が複雑に関与することで、より重症度が高くなることが知られています。そして前頭洞炎(おでこの骨の中にある副鼻腔の炎症)の発症については、前頭洞排泄路の狭小、閉塞により、洞内からの自然排泄を妨げられた結果として前頭洞炎を生じるといわれておりますが、不明な点も多いです。今回、その病因を追求するために、副鼻腔炎、特に前頭洞炎の発症に関わるリスク因子を検討し、研究することを目的として本研究を計画しました。

この研究で得られる成果は、副鼻腔炎の治療(手術)の向上につながります。

【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医療センター大橋病院倫理委員会の承認を得て実施するものです。

対象者:2019年4月～2020年3月までに東邦大学医療センター大橋病院 耳鼻咽喉科において、慢性副鼻腔炎に対する内視鏡下副鼻腔手術を受けた方となります。

方法:診療録(カルテ)から抽出したデータを解析します。後ろ向き研究(過去の診療記録・データを解析して、治療成績や患者さんの自然経過を観察させていただく研究)を行わせて頂いております。

【研究に用いられる試料・情報】

カルテ記載内容(年齢、性別、身体所見)、血液検査(白血球中の好酸球数の割合、ダニやハウスダストのアレルギーの有無)、画像検査(CT)、内視鏡検査所見(鼻茸の有無)、病理学的組織検査(好酸球性副鼻腔炎の有無)、他科での診察情報(気管支喘息の有無)など、過去に行われた日常診療に基づくものです。

【外部への試料・情報の提供】

提供はありません。

【研究組織】

代表施設名: 東邦大学医療センター大橋病院耳鼻咽喉科

研究代表医師: 菱村 祐介 役職: 助教

【個人情報について】

研究に利用する情報は、患者さんのお名前、住所など、個人を特定できる個人情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報を利用することはありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報等を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。その場合でも、患者さんに不利益になることはありません。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター 大橋 病院 耳鼻咽喉 科

職位・氏名 助教・菱村 祐介

電話 03-3468-1251 内線 7409